

第8期網走市介護保険事業計画の進捗状況について【令和5年度】

1. 高齢者数・要介護認定者数・認定率の推移

高齢者数・要介護認定者数については、下記の表のとおりです。

令和5年度の高齢者数は計画値を下回っており、第8期計画策定時の令和7年をピークに減少に転じるといった予想を上回る速さで減少傾向に拍車がかかっていると言えます。

要介護認定者数については計画値を下回っており、認定率についても北海道平均、全国平均を大きく下回っています。このことは、以前より介護予防事業等に取り組んできた成果と介護予防・日常生活支援総合事業が充実している結果と考察されます。

なお、より詳細な認定率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。

高齢者数(第1号被保険者数)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
計 画	11,195 人	11,353 人	11,510 人	11,383 人	11,412 人	11,440 人
実 績	11,188 人	11,244 人	11,289 人	11,277 人	11,199 人	11,119 人
比 率	99.9%	99.0%	98.1%	99.1%	98.1%	97.2%

※ 実績は年度末の人数

要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
計 画	1,831 人	1,871 人	1,926 人	1,896 人	1,943 人	1,991 人
実 績	1,795 人	1,826 人	1,823 人	1,839 人	1,870 人	1,874 人
比 率	98.0%	97.6%	94.7%	97.0%	96.2%	94.1%

※ 実績は年度末の人数

令和5年度 介護度別要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
計 画	185 人	302 人	365 人	414 人	302 人	241 人	182 人	1,991 人
実 績	142 人	286 人	406 人	434 人	236 人	208 人	162 人	1,874 人
比 率	76.8%	94.7%	111.2%	104.8%	78.1%	86.3%	89.0%	94.1%

※ 実績は年度末の人数

調整済認定率の推移(第2号被保険者を含まない)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	15.0%	14.8%	14.4%	14.3%	14.3%	未公表
北海道	18.5%	18.4%	18.3%	18.0%	17.7%	未公表
全 国	17.1%	17.0%	17.0%	16.6%	16.3%	未公表

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より(年度末の数値)

また、日常生活圏域毎の概況及び特徴は下記のとおりです。

【日常生活圏域の概況】

(令和5年9月末日現在)

項 目	北圏域	中央・西 圏域	東・呼人 圏域	南圏域	市外 (※)	総 計
地 域 名	北東・海岸町・北西・緑町・字二ツ岩・字明治・向陽ヶ丘	南東・港町・南西・錦町・台町・桂町・新町・大曲・字三眺・字天都山・字能取・字平和・字卯原内・字越歳・字嘉多山・字二見ヶ岡	駒場南1～5丁目・駒場北1～5丁目・潮見・字呼人・字八坂・字東網走・字中園	駒場南6～8丁目・駒場北6丁目・つくしヶ丘・鱒浦・字豊郷・字藻琴・字昭和・字山里・字稲富・字北浜・字丸万・字実豊・字音根内・字浦士別・字栄・字清浦		
面積（湖沼面積除）	43.98k m ²	163.21k m ²	48.6k m ²	133.64k m ²	—	389.43k m ²
人 口（※）	5,449 人	8,435 人	11,306 人	7,790 人	—	32,980 人
第1号被保険者数	1,635 人	2,993 人	3,739 人	2,721 人	84 人	11,172 人
高齢化率（※）	30.0%	35.5%	33.1%	34.9%	—	33.9%
第1号被保険者要介護認定者数	327 人	558 人	520 人	397 人	74 人	1,876 人
認定者割合（※）	20.0%	18.6%	13.9%	14.6%	88.1%	16.8%
圏域別認定者構成比	17.4%	29.7%	27.7%	21.2%	3.9%	100.0%
グループホーム整備数	1 箇所	2 箇所	5 箇所	2 箇所	—	10 箇所
小規模特養整備数	1 箇所	2 箇所	0 箇所	0 箇所	—	3 箇所
小規模多機能整備数	1 箇所	0 箇所	1 箇所	0 箇所	—	2 箇所
地域密着型特定施設整備数	0 箇所	0 箇所	0 箇所	1 箇所	—	1 箇所
地域密着型通所・認知デイ整備数	1 箇所	2 箇所	1 箇所	3 箇所	—	7 箇所

※ 「市外」は網走市外の住所地特例対象施設入所者数を記載。

※ 「人口」は住民基本台帳の実績値を記載。

※ 「高齢化率」は「第1号被保険者数」÷「人口」で算出。

※ 「認定者割合」＝「第1号被保険者要介護認定者数」÷「第1号被保険者数」で算出。

【日常生活圏域の特徴】

日常生活圏域	特 徴
北圏域	市街地、住宅地を中心とし構成されており、古くから栄えた地区と住宅地区が介在しており、4圏域の中で面積・人口・第1号被保険者数ともに一番小さい圏域です。高齢化率は、官公署の職員住宅が圏域内に整備されていること等が要因となり4圏域で一番低いですが、認定者割合は一番高い状況となっています。このことは、後期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。
中央・西圏域	中心市街地と大曲地区を中心とした住宅地、広い農地・山間地に散在する西部地区の農村・漁村集落で構成され、国道238号線を幹線道路としています。この圏域の高齢化率は4圏域の中で最も高く、認定者割合も「北」圏域に次ぐ高さとなっています。このことは、高齢率が高い大曲地区が含まれること、郊外の農村・漁村集落が他圏域に比べ広く分布していることなどに起因していると考えられます。また、生活体制整備事業にいち早く取り組んでいる圏域で、令和4年度には小規模特別養護老人ホームの整備(増床)を行いました。
東・呼人圏域	潮見地区を中心とした住宅地と呼人地区を中心とした観光宿泊地で構成され、国道39号線及び道々中園網走停車場線を幹線道路としています。圏域内の人口・第1号被保険者数は、4圏域の中で最も多くなっています。これは、圏域の中に大規模な潮見地区の住宅地が含まれているためと考えられます。認定者割合は市内で一番低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。
南圏域	駒場・つくしヶ丘地区の商業地・住宅地と南部地区の農村・漁村集落で構成され、国道244号線及び市道つくしヶ丘本通線を幹線道路としています。圏域面積は「中央・西」圏域の次に大きい圏域となっています。認定者割合は市の平均より低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。

2. サービス利用状況

サービス利用状況については、下記の表のとおりです。長期入院などを含め認定者の一定数がサービスを利用していない現状があります。

認定者のサービス利用率（第2号被保険者を含まない）

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
認定者	1,795 人	1,826 人	1,823 人	1,839 人	1,870 人	1,874 人
利用者	1,449 人	1,472 人	1,486 人	1,524 人	1,533 人	1,528 人
利用率	80.7%	80.6%	81.5%	82.9%	82.0%	81.5%

※ 実績は年度末の人数

3. 受給率の推移

受給率とはサービスの受給者数を第1号被保険者で除した値を百分率で示したものです。市内に施設が少ないことから施設サービス受給率が北海道平均、全国平均と比べて低い状況でしたが、令和2年に特別養護老人ホームが増改築、介護医療院が新規開設されたことから、増加しています。一方、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などが充実していることから、居住系サービスの受給率が高い状況です。

なお、より詳細な受給率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。(厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」の数値は令和6年6月20日現在のもの)

【施設サービス】 特別養護老人ホーム・老健など

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	2.2%	2.2%	2.3%	2.5%	2.5%	2.6%
北海道	2.8%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%
全 国	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【居住系サービス】 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)など

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	2.6%	2.6%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%
北海道	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
全 国	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】 訪問介護(ヘルパー)、通所介護(デイサービス)など

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	8.2%	8.5%	8.2%	8.2%	8.5%	8.6%
北海道	8.9%	9.1%	9.3%	9.6%	9.7%	9.9%
全 国	9.6%	9.8%	9.9%	10.2%	10.3%	10.5%

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

4. 受給者1人あたり介護給付費の推移

市内に認知症対応型共同生活介護(グループホーム)や特定施設等が充実していることから、在宅及び居住系サービス受給者1人あたりの介護給付費が北海道平均と比べ高い状況です。

なお、より詳細な給付費の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。(厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」の数値は令和6年6月14日現在のもの)

【在宅及び居住系サービス】(月あたり)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	130,173 円	127,645 円	133,183 円	133,419 円	128,865 円	128,897 円
北海道	118,578 円	119,834 円	120,303 円	121,378 円	121,447 円	124,252 円
全 国	128,185 円	128,829 円	129,416 円	130,299 円	130,071 円	133,349 円

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】(月あたり)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	103,292 円	100,516 円	103,220 円	103,056 円	97,545 円	95,736 円
北海道	101,464 円	102,860 円	103,081 円	104,379 円	104,404 円	107,254 円
全 国	117,519 円	118,025 円	118,274 円	119,152 円	118,718 円	121,900 円

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

5. 居宅介護サービスの利用状況

計画に対する居宅介護サービス毎の実績は下記のとおりです。通所系サービスが計画を下回っていますが、その補完的要素から訪問系サービスが計画を上回っています。

※実績は年度平均

(1) 居宅介護支援・介護予防支援

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	229	235	240
実 績	223	240	239
比 率	97.3%	102.1%	99.6%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	683	705	714
実 績	675	684	692
比 率	98.8%	97.0%	96.9%

(2) 訪問介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	5,159	5,310	5,279
実 績	5,155	5,242	4,793
比 率	99.9%	98.7%	90.8%

(3) 訪問入浴介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	3	3	3
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	45	50	45
実 績	55	55	84
比 率	122.2%	110.0%	186.7%

(4) 訪問看護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	198	206	213
実 績	165	170	159
比 率	83.3%	82.5%	74.6%

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	948	977	990
実 績	1,022	940	938
比 率	107.8%	96.2%	94.7%

(5) 訪問リハビリテーション

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	367	376	392
実 績	483	489	508
比 率	131.6%	130.1%	129.6%

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	622	630	637
実 績	1,196	1,051	1,095
比 率	192.2%	166.8%	171.9%

(6) 居宅療養管理指導

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	10	11	11
実 績	11	15	14
比 率	110.0%	136.4%	127.3%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	65	66	67
実 績	214	238	265
比 率	329.2%	360.6%	395.5%

(7) 通所介護（デイサービス）

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	1,374	1,429	1,459
実 績	943	1,000	1,237
比 率	68.6%	70.0%	84.8%

(8) 通所リハビリテーション（デイケア）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	80	82	83
実 績	60	52	47
比 率	75.0%	63.4%	56.6%

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	1,178	1,217	1,283
実 績	1,022	1,062	836
比 率	86.8%	87.3%	65.2%

※介護予防サービスは、月単位の定額報酬のため、人数で記載

(9) 福祉用具貸与

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	125	127	130
実 績	134	155	164
比 率	107.2%	122.0%	126.2%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	379	391	393
実 績	365	385	424
比 率	96.3%	98.5%	107.9%

(10) 特定福祉用具販売

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	5	5	5
実 績	5	5	5
比 率	100.0%	100.0%	100.0%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	7	7	7
実 績	9	9	8
比 率	128.6%	128.6%	114.3%

(11) 住宅改修費の支給

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	5	5	5
実 績	6	6	4
比 率	120.0%	120.0%	80.0%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	11	11	11
実 績	8	7	9
比 率	72.7%	63.6%	81.8%

(12) 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）

短期入所生活介護(予防)の利用状況（日／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	8	12	12
実 績	9	10	15
比 率	112.5%	83.3%	125.0%

短期入所生活介護(介護)の利用状況（日／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	665	674	658
実 績	494	390	389
比 率	74.2%	57.9%	59.1%

短期入所療養介護(老健・予防)の利用状況（日／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	10	10	10
実 績	12	17	21
比 率	120.0%	170.0%	210.0%

短期入所療養介護(老健・介護)の利用状況（日／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	674	706	688
実 績	417	377	312
比 率	61.9%	53.4%	45.3%

短期入所療養介護(病院等・予防)の利用状況（日／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

短期入所療養介護(病院等・介護)の利用状況（日／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	61	62	62
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

(13) 特定施設入居者生活介護（介護専用型・混合型）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	13	13	14
実 績	13	16	17
比 率	100.0%	123.1%	121.4%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	127	130	132
実 績	129	125	119
比 率	101.6%	96.2%	90.2%

6. 地域密着型サービスの充実

計画に対する地域密着型サービス毎の実績は下記のとおりです。通所系サービスは事業所数の減少から計画を下回っていますが、他のサービスについては概ね計画どおり利用されています。 ※実績は年度平均

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	4	4	4
実 績	3	3	4
比 率	75.0%	75.0%	100.0%

(2) 夜間対応型訪問介護

第8期計画策定時において、市内に事業参入する事業者がなく、サービス量を見込んでおらず、市外の前住地特例施設入居者を含め利用実績もありませんでした。

(3) 地域密着型通所介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	1,010	1,042	1,047
実 績	952	837	714
比 率	94.3%	80.3%	68.2%

(4) 認知症対応型通所介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	4	4	4
実 績	8	3	0
比 率	200.0%	75.0%	0.0%

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	539	568	578
実 績	481	455	392
比 率	89.2%	80.1%	67.8%

(5) 小規模多機能型居宅介護

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	7	7	8
実 績	3	4	3
比 率	42.9%	57.1%	37.5%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	31	32	32
実 績	30	24	27
比 率	96.8%	75.0%	84.4%

(6) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	171	171	171
実 績	169	165	169
比 率	98.8%	96.5%	98.8%

(7) 地域密着型特定施設入居者生活介護

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	20	20	20
実 績	20	19	20
比 率	100.0%	95.0%	100.0%

(8) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	56	56	74
実 績	56	56	65
比 率	100.0%	100.0%	87.8%

(9) 看護小規模多機能型居宅介護（旧複合型サービス）

第8期計画策定時において、市内に事業参入を検討している事業者がなかったため、サービス量を見込んでおらず、市外の前住地特例施設入居者を含め利用実績もありませんでした。

7. 施設サービスの充実

計画に対する施設サービス毎の実績は下記のとおりです。全ての施設サービスで計画を下回りました。 ※実績は年度平均

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	99	103	106
実 績	93	91	88
比 率	93.9%	88.3%	83.0%

※上記には、市外施設利用分も含む

(2) 介護老人保健施設（老人保健施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	120	122	124
実 績	106	107	120
比 率	88.3%	87.7%	96.8%

※上記には、市外施設利用分も含む

(3) 介護医療院（介護療養病床施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	40	40	40
実 績	28	28	17
比 率	70.0%	70.0%	42.5%

※上記には、市外施設利用分も含む

8. きめ細やかな介護保険制度運営の推進

(1) 市町村特別給付の推進（ロードヒーティング施工費・いす式階段昇降機施工費）

ロードヒーティング施工費支給件数（人／年）

区分	R03	R04	R05
計 画	1	1	1
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

ロードヒーティング施工費支給金額（千円／年）

区分	R03	R04	R05
計 画	270	270	270
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

いす式階段昇降機施工費支給件数(人／年)

区分	R03	R04	R05
計 画	1	1	1
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

いす式階段昇降機施工費支給金額(千円／年)

区分	R03	R04	R05
計 画	270	270	270
実 績	0	0	0
比 率	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 低所得者対策の推進

介護保険では、サービス利用者は費用の1割～3割の自己負担が基本（介護サービス計画作成費を除く）となりますが、低所得者への配慮から、次のような負担軽減措置を講じました。

- 施設サービス・短期入所サービスを利用した場合の食費・居住費の減額
- 所得に応じた高額介護サービス費、高額医療・高額介護合算療養費の負担上限額の設定
- 社会福祉法人等により生計困難者に対する利用者負担軽減がなされた場合の法人助成(社会福祉法人軽減)

このうち、社会福祉法人軽減については、国が平成17年10月から軽減率の引き下げ（利用者負担を7.5％へ引き上げ）や施設入所者の居住費・食費の軽減などの見直しを実施しましたが、当市では【独自軽減】として、5％に軽減し、施設入所者の居住費・食費の軽減については実施していません。

今後の国制度への完全転換も視野に入れ、令和4年8月より資産要件を導入し、より公平な制度となるよう努力してきました。

(3) 介護認定審査会の共同設置及び審査会委員の資質向上、公平性・公正性の確保

要介護者の審査判定業務を行うため、市町村に介護認定審査会を設置することとなっており、当市の場合は、審査会委員の確保や広域的に公平な審査判定の確保、また、事務の効率化・経費削減が図られる等の観点から、この審査会を近隣の斜里町・清里町・小清水町の1市3町共同で設置しています。

3町と十分に連携を図り、令和4年10月には事務等担当者会議を開催するなどして審査会の円滑な実施に努めてきました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年12月より介護認定審査会のオンライン開催を実施しするとともに、令和4年12月からは審査会資料のペーパーレス化に取り組んできました。

また、北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室などと連携し、審査会委員新規研修及び現任研修を実施し、資質向上に努めました。

(4) 情報公表の実施促進

利用者が適切かつ円滑に介護サービスを選択することが可能となるよう、北海道への情報提供を行うとともに、介護サービス事業者に対する運営指導等を通じて、情報公表を行うよう指導に努めました。

また、被保険者に対しては「介護保険いきいきガイドブック」やホームページ等の活用により事業者情報の周知を行いました。

(5) 事業所への適切な指定・指導等の実施

事業者に対する運営指導の中で、基準の遵守、サービス内容の評価・点検等を行ってきました。また、令和6年3月には地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所を対象とした集団指導をweb併用で開催しました。

(6) ケアマネジメントに関する基本方針の周知

介護保険制度の根幹であるケアマネジメントのあり方を保険者と介護支援専門員で共有することを目的とし、「網走市ケアマネジメントに関する基本方針」を策定し運営指導等を通じて事業者にも周知しました。

(7) 介護給付の適正化の推進

過剰な給付を抑制し、長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、費用の適正化のための検証等に努めてきました。目標項目に対する実施状況は下記のとおりです。

項目	実施方法	実施目標	実施状況
要介護認定の適正化	○一次判定から二次判定の軽重度変更率の差や、認定審査会の合議体間の差異について分析を行い、差異を縮小させるための取り組み(研修会の開催等)を実施	・年1回以上の研修会を開催	・新任研修及び現任研修を開催。
	○要介護認定・要支援認定新規申請及び区分変更申請に係る調査については保険者直営により実施	・全件実施	・全件実施
	○更新申請を含む調査票の点検を実施		
ケアプランの点検	抽出によるケアプラン点検を実施	・各居宅支援事業所年1件以上	・34件実施 (居宅支援事業所2事業所・その他の事業所1事業所)
住宅改修等の点検	【住宅改修】施工前の工事見積書、竣工写真等により、住宅改修の施工状況等を点検。また、改修費が高額であるもの等を抽出し施工前及び施工後の現地点検等を実施	・全件実施	・全件実施 (高額改修等に対する現地点検1件実施)
	【福祉用具購入調査】福祉用具購入に関し金額等を点検	・全件実施	・全件実施
縦覧点検・医療情報との突合	国保連への委託等により実施	・全件実施	・全件実施
介護給付費通知	住宅改修及び福祉用具購入者に対し、給付費金額を通知	・全件実施	・全件実施

9. 災害や感染症対策に係る体制整備

近年、大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の流行等、これまではなかった備えが必要となってきました。新型コロナウイルス感染症関連では厚生労働省の施設・居住系事業所に対する抗原定性検査キット配布の集約業務を行うとともに、感染症予防の徹底に向けた資料の周知等を行ってきました。今後も、各サービス事業所の感染症や災害への対応力向上のために、必要な情報提供や助言等を行っていきます。

10. 介護人材確保の推進

介護サービスを維持・整備していくためには、量だけでなく質の高い介護人材を継続的・安定的に確保することが必要不可欠です。新型コロナウイルス感染症予防の観点から介護職員のスキルアップ研修会の開催はできませんでしたが、下記の事業に取り組みました。

- 介護初任者研修受講に対する助成 6人(R3:4人、R4:2人)
- 介護支援専門員再研修に対する助成 2人(R4:1人、R5:1人)
- あばしり介護フェアの開催(中高生等への啓蒙) R4:市民150名参加
R5:市民200名参加

11. 重度化防止の取組に関する目標

(1) 重度化防止に向けた総体的な数値目標

第8期計画においては「地域支援事業の実施による要介護状態になることの予防」や「生活機能向上のためのリハビリテーション」など個々の施策・事業を通じて高齢者の自立支援や重度化防止に取り組むこととしましたが、総体的な指標として「第1号被保険者における要介護3以上の割合」を重度化防止の数値目標として掲げました。「地域包括ケア『見える化』システム」による最新実績である令和5年3月末の数値については下記のとおりです。

	現 状 (R01末)	目 標 (R05末)	実 績 (R04末)	差 異
調整済み重度認定率	5.5%	5.5%以下	4.7%	△0.8

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」調整済み重度認定率より記載

※ 「調整済み認定率」～認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

※ 「重度認定率」～要介護3以上の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値

(2) 具体的な取り組み目標

介護予防、重度化防止に係る具体的な取り組み目標・実績は下記のとおりです。目標を達成できていない項目もありますが、第9期計画期間においても介護予防を中心とした各種施策の継続・充実を図っていきます。

①フレイル・要支援状態の高齢者に対する適切な生活期リハビリテーションサービス提供体制の構築

ア. 初回アセスメント時におけるリハビリ専門職派遣回数の増加

計画策定時 (R02末見込)	R02末実績	目標 (R05末)	実績 (R05末)
5 回	4 回	24 回	10 回

②地域における通いの場の充実

ア. 高齢者ふれあいの家・各種トレーニング教室への参加者の増加

計画策定時 (R02末見込)	R02末実績	目標 (R05末)	実績 (R05末)
1,500 人	1,468 人	1,605 人	1,268 人

イ. 心身の健康度が維持または向上したと感じる参加者割合

現状 (R02末見込)	目標 (R05末)	実績 (R05末)
通いの場参加者へのアンケートの実施	70%	84.1%

※実績についてははらくらく健康トレーニングアンケートによる

																			保険者名		網走市	
活用データ名・指標名	単位	備考	データの値																全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
			自保険者				北海道平均				全国平均				比較地域(北見市)							
			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
認定率	％	見える化・時系列(各年度年報、R5のみ月報)	16.2	16.3	16.7	16.5	20.3	20.5	20.6	20.6	18.7	18.9	19.0	19.0	20.5	20.9	20.8	20.8	●すべての認定率において、全国・全道と比べて低い	●早くより予防事業に取り組んでいる成果と考察(H12より介護予防事業に着手)		●今後も各種取組を継続していく
調整済み認定率	％	見える化・時系列(各年度年報、R4のみ月報)	14.4	14.3	14.3	※	18.3	18.0	17.7	※	17.0	16.6	16.8	※	18.3	18.0	17.6	※				
調整済み重度認定率(要介護3～5)	％	見える化・時系列(各年度年報、R4のみ月報)	5.0	4.8	4.7	※	5.1	5.0	4.8	※	5.7	5.6	5.5	※	5.3	5.1	5.1	※				
調整済み軽度認定率(要支援1～要介護2)	％	見える化・時系列(各年度年報、R4のみ月報)	9.4	9.5	9.5	※	13.2	13.0	12.8	※	11.2	11.0	10.8	※	12.9	12.9	12.5	※				
受給率(施設サービス)	％	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	2.3	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.9	2.6	2.6	2.5	2.5	●受給率は全国・北海道と比べ施設が低く、居住系が高い。	●管内周辺に特養等の施設が少なく、管内にはGH、サ高住(特定)等が多い ●令和2年の介護医療院・特養の整備等により施設サービス受給率が増加傾向		●今後も各種取組を継続していく
受給率(居住系サービス)	％	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	2.9	2.9	2.9	2.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.3	1.3	1.3	1.4	1.8	1.7	1.8	1.8				
受給率(在宅サービス)	％	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	8.2	8.3	8.5	8.6	9.3	9.5	9.7	9.9	9.9	10.2	10.4	10.5	10.6	11.0	11.4	11.5				
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	133,183	133,419	128,865	128,897	120,306	121,378	121,447	124,252	129,423	130,299	130,071	133,349	125,228	125,557	123,979	126,678	●在宅系サービスの利用日数・回数が全国・道平均より低い ●在宅系サービス1人あたり給付月額は全国より低い ●GHは平均的	●全国と比較し利用日数が少ないのは人材不足等により需要に供給が追い付いていないのではないか。	●介護人材関係について事業所への聞き取り、意見交換会等を実施(H28～)	●今後も各種取組を継続するとともに介護人材確保に向け下記の取組を実施していく。 ●介護人材の育成 →初任者研修受講補助金の創出(H28～) →ケアマネ再研修受講補助金の創出(R3～) ●介護人材の離職防止 →新人合同研修交流会の開催(H29～) ●潜在的介護人材等の発掘の取組 →再就職研修(H29～) →入門的研修(H30～) →復職支援金制度(R6～) ●介護フェアの開催 →介護人材確保に向け中高生を含む一般市民向けの事業所説明会等を開催(R4～R5) ●軽度者の生活支援に特化した総合事業サービスの創出 →今後の課題
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	103,220	103,056	97,545	95,736	103,085	104,379	104,404	107,254	118,281	119,152	118,718	121,900	109,054	111,025	108,312	111,346				
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	62,947	64,504	65,801	61,706	72,228	74,079	75,724	78,395	73,426	75,248	76,919	80,137	69,326	69,563	70,295	72,476				
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	回	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	16.9	17.4	18.0	16.3	25.2	25.9	26.4	27.3	25.1	25.6	26.2	27.2	22.4	22.2	22.3	22.9				
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	46,357	43,406	43,395	48,001	58,230	58,107	56,626	58,608	85,006	84,961	83,257	85,322	58,498	57,562	56,123	58,795				
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	日	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	7.3	6.9	6.9	7.1	8.2	8.3	8.0	8.2	10.9	11.0	10.7	10.9	8.1	8.1	7.7	7.9				
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	49,559	50,050	52,214	52,150	51,722	51,787	50,564	52,267	59,317	59,650	58,136	59,522	48,867	49,404	45,900	46,679				
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	日	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	4.4	4.6	4.9	4.8	5.0	5.0	4.8	5.0	5.9	5.9	5.7	5.8	5.0	5.1	4.5	4.7				
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	75,755	79,816	70,115	66,860	102,902	102,057	99,779	96,517	108,510	109,768	108,557	106,586	93,320	96,545	101,868	101,924				
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	日	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	10.6	10.1	8.7	8.3	12.7	12.5	12.2	11.6	12.9	12.9	12.7	12.3	11.6	12.1	12.6	12.4				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R4・R5のみ月報)	253,347	256,760	259,567	264,697	254,855	257,173	259,060	263,463	256,463	258,748	260,639	265,725	255,582	259,503	260,505	258,012				

●厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より記入。(令和6年6月20日時点) ※は作成時点において未公表